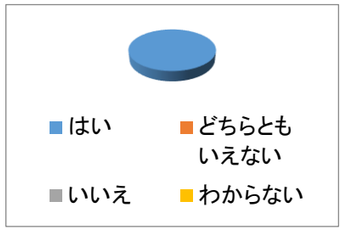
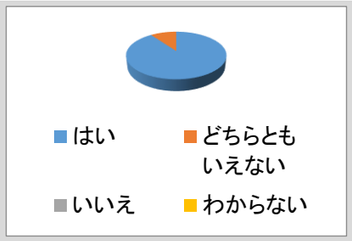
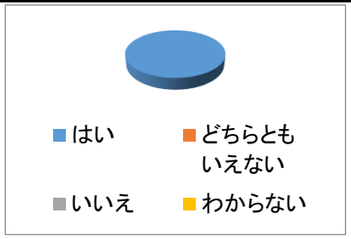
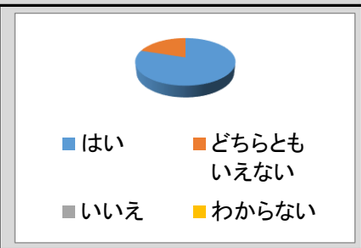
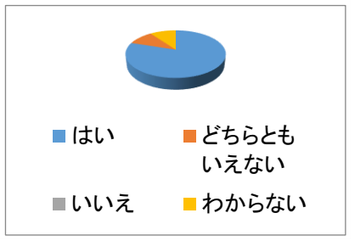
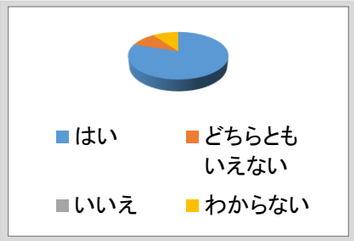
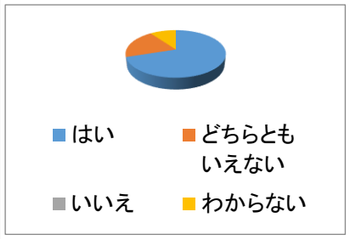
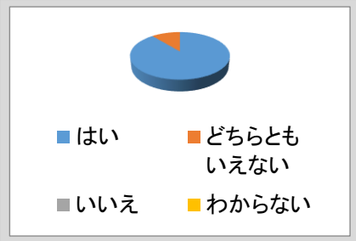
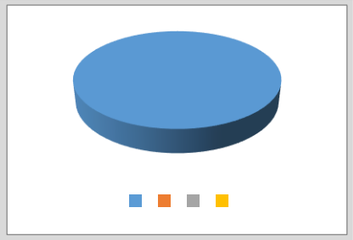
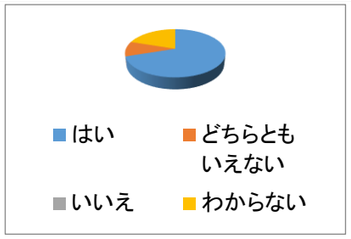
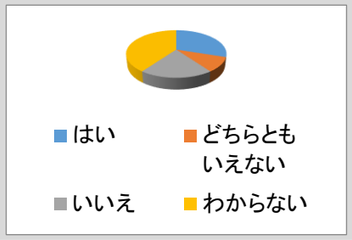
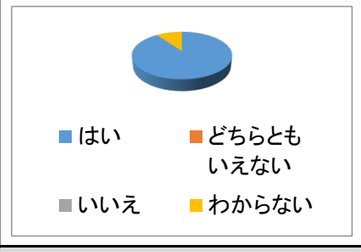
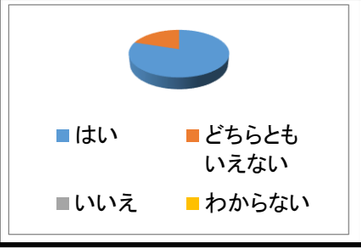
保護者などからの事業所評価の集計結果（公表）

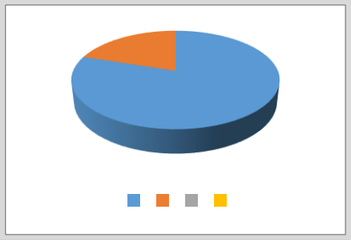
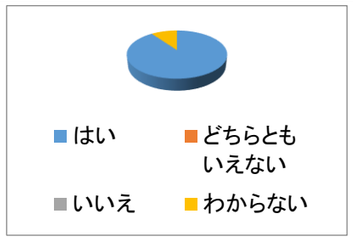
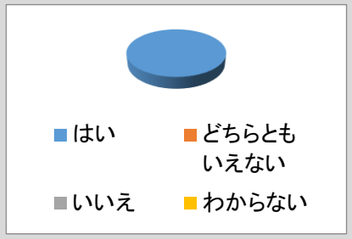
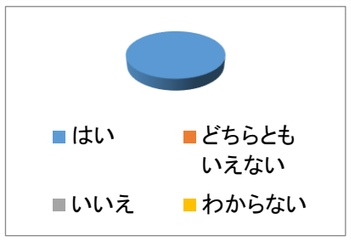
公表：　平成３１年3月３１日

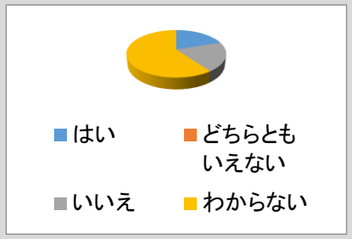
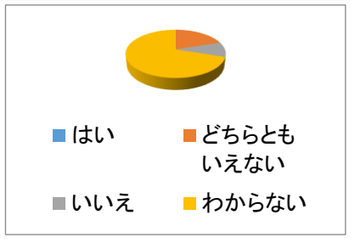
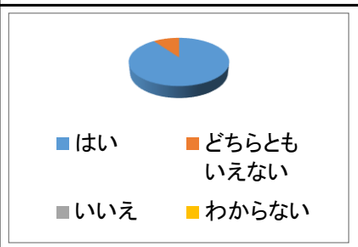
事業所：県央療育センター　　児童発達支援　　保護者配布数　３５部　　回収数　１０部　　回収率　２８％

		質問	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか	10	0	0	0		・広すぎず、狭すぎず、ちょうど良い	
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
	②	職員の配置数や専門性は適切ですか	9	1	0	0		・１年同じ先生なので信頼関係ができて良い	
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
	③	生活空間は本人にわかりやすい構造化ｉされた環境になっていますか。また特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切にされていますか	10	0	0	0		・それぞれの部屋があり、言葉が話せなくても場所で覚える（体で？）	
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていますか	8	2	0	0			

適切な支援の提供			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画[ii]が作成されていますか	8	1	0	1			
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
	⑥	児童発達支援計画には、ガイドラインの「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されていますか	8	1	0	1			
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われていますか	7	2	0	1			
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
	⑧	活動プログラム[iii]が固定化しないよう工夫されていますか	8	1	0	0		・勉強の課題を得意・不得意含め、また次回に反映して工夫してくれます	
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			

保護者への説明等	⑨	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか	10	0	0	0		・変更あれば、書面で教えてくれる	
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
	⑩	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がありましたか	7	1	0	2			
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
	⑪	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング[iv]等）が行われていますか	3	1	2	4		・困りごとなど相談すると親身に回答＆それに対しての対策を考えてくれます	
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか	9	0	0	1		・親から話すこともあれば、先生が最近どーですか？と聞いてくれます	
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
	⑬	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか	8	2	0	0		・いつも相談に乗ってくれます	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		ご意見	ご意見を踏まえた対応
⑭	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の対策が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか	8	2	0	0			
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
⑮	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか	9	0	0	1			
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
⑯	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対しての発信がありますか	10	0	0	0			
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
⑰	個人情報の取り扱いは十分注意されていますか	24	0	0	0			

非常時等の対応			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか	2	0	2	6			
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	0	2	1	7			
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
満足度	⑳	子どもは通所を楽しみにしていますか	10	0	0	0			
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
	㉑	事業所の支援に満足していますか	9	1	0	0		・子供のやりたい事（遊び）に最大限に付き合って、向きあってもらえて、子供も本当楽しそうです	

i

ii 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、何をするのか子ども本人がわかりやすい配置や工夫のことです。

iii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び、達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iv 「活動プログラム」は、事業所の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの特性や課題等に応じて柔軟に組みわせて実施されることが想定されています。

「ペアレント・トレーニング」は保護者が子どもの行動を観察して特性を理解したり、特性を踏まえた褒め方等を学ぶことより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。